

# 中国株ウィークリーレポート

2019/2/12

## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

|                | 週末終値      | 前日比     | 変化率 (%) | 週間騰落率 (%) | 年初来騰落率 (%) | 18年末株価    |
|----------------|-----------|---------|---------|-----------|------------|-----------|
| NYダウ           | 25,106.33 | -63.20  | -0.25   | 0.17      | 7.63       | 23,327.46 |
| NASDAQ         | 7,298.20  | 9.85    | 0.14    | 0.47      | 9.99       | 6,635.28  |
| 日経225          | 20,333.17 | -418.11 | -2.01   | -2.19     | 1.59       | 20,014.77 |
| 上海総合           | 2,618.23  | 0.00    | 0.00    | 0.00      | 4.99       | 2,493.90  |
| 滬深300 (CSI300) | 3,247.40  | 0.00    | 0.00    | 0.00      | 7.86       | 3,010.65  |
| ハンセン           | 27,946.32 | -43.89  | -0.16   | 0.06      | 8.13       | 25,845.70 |
| 中国企業           | 10,956.58 | -79.84  | -0.72   | -0.97     | 8.22       | 10,124.75 |

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は0.1%高と6週続伸、本土市場は1週間休場

香港市場ではハンセン指数が週間で0.1%高と小幅ながら6週続伸した。旧正月の連休入りで1日半の取引。ハンセン指数は28000ポイントを意識した値動きとなったが、28000ポイントを上回る水準では利益確定売りに押された。米中首脳会談の開催を巡るトランプ米大統領の発言を受けて先行きへの不安が強まったが、3月1日の交渉期限後も米国が対中関税の引き上げを見送る可能性があるとの報じられ、市場心理が改善。徐々に持ち直しの動きが広がった。一方、本土市場は旧正月連休のため1週間休場だった。

### 今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、足元の上昇で短期的な過熱感も

香港市場は上値の重い展開が予想される。ハンセン指数は年初からの上昇率が約9%に達するなど短期的な過熱感が強まっており、節目の28000ポイントの水準を超えたことで戻り売りが出やすい。また、米中貿易問題を巡り情報が二転三転するなか、今週は米中の次官級・閣僚級交渉が予定されており、関連報道を受けて一喜一憂する展開も予想される。一方、本土市場はしつかりの展開か。貿易問題を巡る報道で相場が振れる場面もありそうだが、中国政府による景気対策への期待が相場を支える要因となりそうだ。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

|                      | 週末終値 (HK\$) | 騰落率 (%) |
|----------------------|-------------|---------|
| 1 AIAグループ(01299)     | 74.05       | 5.94    |
| 2 舜宇光学科技(02382)      | 80.90       | 5.06    |
| 3 サズ・ファイナ(01928)     | 38.30       | 3.10    |
| 4 九龍倉置業地産(01997)     | 53.85       | 2.09    |
| 5 信和置業(00083)        | 14.20       | 2.01    |
| 6 Link REIT(00823)   | 86.85       | 2.00    |
| 7 碧桂園(02007)         | 11.30       | 1.99    |
| 8 中電控股(00002)        | 91.90       | 1.60    |
| 9 ホンコン・ファイナガス(00003) | 17.34       | 1.40    |
| 10 瑞声科技(02018)       | 48.40       | 1.36    |

### ▼騰落率下位

|                  | 週末終値 (HK\$) | 騰落率 (%) |
|------------------|-------------|---------|
| 1 石薬集団(01093)    | 12.98       | -4.70   |
| 2 万洲国際(00288)    | 6.79        | -4.37   |
| 3 華潤置地(01109)    | 29.50       | -2.80   |
| 4 CNOOC(00883)   | 12.88       | -2.57   |
| 5 中国中信(00267)    | 11.56       | -2.20   |
| 6 ベトロファイナ(00857) | 4.96        | -2.17   |
| 7 銀河娛樂(00027)    | 54.10       | -1.81   |
| 8 中国神華能源(01088)  | 19.30       | -1.73   |
| 9 中国生物製薬(01177)  | 6.60        | -1.49   |
| 10 中国人寿保険(02628) | 19.20       | -1.34   |

## ▼今週の主なイベント

- 2月14日(木)
- 【中国】貿易統計(1月)
- 【中国】米中閣僚級通商協議(15日まで)
- 2月15日(金)
- 【中国】CPI、PPI(1月)

### ▼今週の期待材料

- ◆3月にトランプ大統領の別荘で米中首脳会談開催の可能性が浮上、ホワイトハウスは電話会談の可能性も示唆
- ◆中国の1月末の外貨準備高が152億米ドル増の3兆870億米ドルに拡大、3カ月連続増加で資金流出懸念が後退
- ◆旧正月期間中の中国の航空旅客数が1258万6000人に、前年同期比11%増と2桁増を維持

### ▼今週の懸念材料

- ◆米中貿易問題を巡り先行き不透明感、トランプ大統領が交渉期限までに米中首脳会談の予定はないと発言
- ◆香港市場に短期的過熱感、ハンセン指数は先週まで6週続伸で年初からの上昇率が約9%
- ◆中国の旧正月期間中の小売・飲食業の売上高の伸びが減速、伸び率8.5%と05年以降で初めて1桁台に

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 銀河娛樂(00027): 旧正月連休期間中のマカオ訪問客数が27%増加
- ☆ 吉利汽車(00175): 1月の新車販売台数が2%増、15万8400台で月次記録更新
- ☆ 超大現代農業(00682): 18年12月中間決算は赤字縮小の見通し
- ☆ テンセント(00700): 旧正月期間中の微信経由のお年玉が増加、前年同期比で7%増
- ☆ ロードキング・インフラ(01098): 18年12月本決算は45%超増益の見通し
- ☆ 小米集団(01810): MSCI新興国株指数に議決権種類株銘柄として新規採用
- ☆ 美团点評(03690): MSCI新興国株指数に新規採用、28日大引け後に発効
- ★ 中国興業太陽能技術(00750): 8日支払い期限の転換社債の利払いが遅延
- ★ 中国金茂(00817): 1月の不動産販売額が38%減少、販売面積は6%増
- ★ 華泰証券(06886): 1月の純利益が44%減少、営業収益は39%減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。